

製品名: CRTC3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85169**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 67 kDa; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

遺伝子名	CRTC3
別名	TORC3; FLJ21868; CRTC3
遺伝子 ID	64784.0
SwissProt ID	Q6UUV7
免疫原	ヒト CRTC3 の合成ペプチド

背景

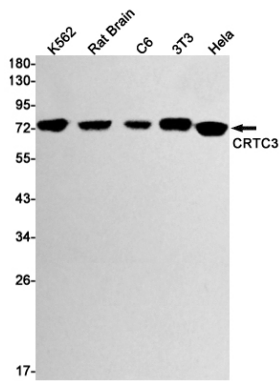
CREB1 の転写コアクチベーターで、コンセンサスおよびバリエーション cAMP 応答エレメント (CRE) 部位の両方を介して転写を活性化

します。SIK/TORCシグナル伝達経路においてコアクチベーターとして作用し、脱リン酸化時に活性化し、CREB1の「Ser-133」リン酸化とは独立して作用します。CREB1とTAF4の相互作用を強化します。ステロイド生成遺伝子StARなどの特定のCREB活性化遺伝子の発現を制御します。PPARGC1Aの強力なコアクチベーターであり、筋細胞のミトコンドリア新生を誘導します。また、ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)長末端反復配列(LTR)のTAX活性化のコアクチベーターでもあります。組織特異性:主にBリンパ球およびTリンパ球で発現します。肺で最高レベルです。また、脳、結腸、心臓、腎臓、卵巣、前立腺でも発現します。肝臓、膵臓、筋肉、小腸、脾臓、胃では弱い発現。

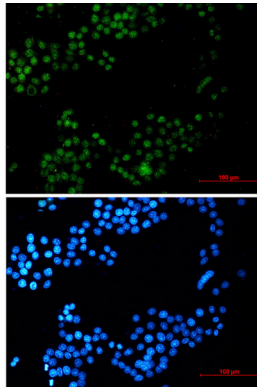
研究分野

-

画像データ



CRTC3抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のCRTC3のウェスタンブロット分析。



CRTC3抗体とDAPI(青)を使用したHela中のCRTC3(緑)の免疫細胞化学分析。